

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	○	理念の実践は具体的にどのようなことを行ったか自己申告書にも書き、明確に文章化している
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>		
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		

福岡県 グループホーム ひかり

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>介護者教室参加者へアンケートや質疑応答などの時間を設け相談、助言を実施している。今後出前講座など地域へ出向くことも考えていきたい</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>他の事業所の取組み等が参考になる。空情報(サービス・ショートステイ)が公表される為、連携がとれサービスへの活用が図られる</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		<p>外部の研修に参加した後、内部研修で報告 具体的事例などで内容を知り、防止の徹底を図っている</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書及び契約書の内容を読みすすめ納得を得た上で契約書に自署押印してもらい疑問点についてはその都度口頭で答え、理解を得ている</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者とは日常的にコミュニケーションをよくとっておりその中から本人の思いを考察し生活環境が総合的に望まれているものと成るようにしている</p>	<p>○</p> <p>決まった日課でなくG・H入居以前の生活スタイルを重視した生活援助(例;食事のあとは自由に居室で本を読んだり散歩をしたり)本人が望む様に暮らすことを軸にした支援をしている</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>担当者より手書きの文面を入れたひかりだよりを2ヶ月に1回発行し郵送、体調不良、ヒヤリハット、事故報告はその都度電話にて報告をしている</p>	<p>○</p> <p>面会時にも報告している</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付担当、第三者委員、ご意見箱を設置し面会時には家族に意見を聞く様にしている</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>意見を求める事がある時は、その都度話し合いの場を提供し意見をとりまとめている</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>勤務表は1ヶ月単位で作成しているが状況に応じ勤務変更し時間外勤務発生時は残業手当が支給される様になっている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内の異動は極力しない、また新規採用時は新人研修を1ヶ月間マニュアルを基に実施、認知症ケアのポイントを事例を通し指導をしている</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>現在も幅広い年齢の職員が勤務しており今後も採用時には人事担当者との協議の上、能力が發揮できる勤務となることに努めていきたい</p>	○	<p>自己覚知が求められる職種である為職員のストレス、不満が貯まらない様にリフレッシュ休暇を(最長1週間)とる体制を整え、心身の健康への配慮を実施している、職員からも好評を得リフレッシュしたとの意見が多い</p>
<p>20</p> <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>外部の研修に積極的に参加し、知識を習得し職員へも啓発している</p>	○	<p>内部研修、朝礼等で時々人権について話す機会を設けている</p>
<p>21</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員教育の重要性を重視しており海外研修へも参加するなど視野を広げた研修にも取り組んでいる</p>	○	<p>外部研修への参加を交互に実施、自己研修に関しては参加可能な勤務体制で支援している</p>
<p>22</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県のG・H協議会に加入し、研修への参加情報交換を行ったり、地域のネットワークでの認知症を学ぶ勉強会への参加活動も行っている</p>		
<p>23</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>リフレッシュ休暇を取り入れて希望に応じた日に取得できるようにしている</p>	○	<p>1年に1回の職員旅行の実施、リフレッシュ休暇の実施</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	半期に1度、自己申告書を提出、かつ個人面談も行っている	○	自己申告により半年間の仕事への評価、目標達成が把握でき、合わせて人事考課により努力や実績がボーナスで反映される様にしている
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	家族の入居希望時には面談を充分に行うと共に、本人が納得の上の入居となる様に本人との会話にも充分な時間をとる様にしている		
26	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	家族との面談時間も充分にとり納得の上の入居となる様に努めている		
27	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	相談時に充分な説明ができる様、介護支援についての知識を習得することに努めサービスの調整も考えている		
28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	体験入所も希望時には取り入れる様にしている	○	入居前のレクレーション、茶話会への参加で馴染みの関係を作り、馴染める場作りに努めている、1日30分×5日位
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	自立支援に努め日常生活の中で共に活動し、生活リハビリや会話も大切にしさりげなく寄り添うことに努めている		

福岡県 グループホーム ひかり

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人の様子を電話や封書にして随時家族へ連絡し知らせ、些細な出来事から怪我や病の治癒と一緒に喜んだり、家族よりアドバイスを受けていたりしている</p>	<p>○</p> <p>これからも本人を一番に家族と何でも話せ共感し合える良い関係を続けていける様努めたい</p>
31	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>それぞれ家族の事情が違うので内情を理解し随時本人の様子を電話で連絡し一方的にならないように家族にも面会や来訪をさり気なくお願いしている</p>	<p>○</p> <p>電話だけでなく、写真をアルバムにまとめたりして本人の日々の生活を知らせたり本人自筆の手紙を定期的に郵送したりしているので良い関係が継続出来る様続けて行きたい</p>
32	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>馴染み深い友人・知人といつでも会うことが出来る様懐かしい場所へ一緒に散歩やドライブをしている。友人・知人が来所されたら写真撮影をしたり、次回の来所を期待できる接遇をしている</p>	<p>○</p> <p>一人ひとりの記憶の中の話や日々の生活の中で聞き把握し写真を見たりしながら、いつでも同じ話が出来るようにこれからも努めたい</p>
33	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>食事やレクリエーションの席を常に考慮しトラブルが起きないようにしている。また孤立しないよう職員が声かけ一緒に家事や散歩をしている</p>	<p>○</p> <p>聴力低下や体調の変化などでコミュニケーションがうまくいかない時も、一人ひとりの個性や性格を考慮しながらユーモアを持って仲立ちしたい</p>
34	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>病院や施設への見舞いや家族へ本人の様子を伺う連絡を行っている。行事(介護者教室や夏祭りなど)へお誘いの手紙を郵送している</p>	<p>○</p> <p>これからも本人や家族との関係を大切に行事等のお知らせや季節の便りを郵送したり、見舞い、電話での本人の様子を伺う連絡を続けたい</p>
1. 一人ひとりの把握			
35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人からの申し出や訴えを尊重し意向に添えるようしている。把握が難しい時は随時職員間で話し合い本人の思いを予測し最良の暮らしが出来る様努めている</p>	<p>○</p> <p>押し付け・強制、画一的になることなく一人ひとりの生活歴・生活・価値観・体調を考慮し細かいアセスメント、分析を繰り返しその人らしい暮らしを支援したい</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や前居住施設職員よりの情報の聞き取りを実施している	○	職員間の情報が共有できるようにフェースシートにより詳しく情報を確認していき、カンファにも役立てたい
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	残存能力を生かして一人ひとりの生活リズムを大切に、職員間で情報共有に努めている	○	個人記録に記入。また担当者との連絡を申し送りノートも活用し職員間で情報の共有を今後も図りたい
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の気持ちを尊重した上で家族の意向を聞き、担当者・職員間でカンファレンスを行い、介護計画を作成している		
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	通常は6ヶ月ごとに評価し、見直しを実施しているが、その他毎月のカンファレンスにてレベル低下に応じた細かいチェックを行い、現状に応じて作成している	○	ケアチェック表を毎日記入し特記事項の欄を有効に活用していきたい
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録に毎日の様子を細かく記録し、情報の共有・介護計画の見直しに活用している		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	軽費老人ホーム「船小屋荘」との連携をとり、支援を行っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>民生委員さんやボランティアの方、小学生・保育園・幼稚園児との交流や消防署の協力を得て避難訓練をしている</p>	○	<p>福祉系の短大の先生と学生による読み聞かせボランティアを受け入れており、学生と職員の意見交換なども検討していきたい</p>
43	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>家族の理解のもと必要に応じて福祉用具のサービスを利用しながら自立した生活の支援をしている</p>		
44	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センターの職員には運営推進会議のメンバーとして情報の公表を行っている程度でありケアマネジメントでの協働には至っていない</p>	○	<p>地域包括支援センターでの総合的なケアマネジメントも今後は運営推進会議時に意見を求めている</p>
45	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人と家族の希望によるかかりつけ医がある、強力医もあり月2回訪問診療にての体調管理を行っている</p>		
46	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医に認知症専門医があり随時受診している</p>		
47	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>看護職員がいる事で利用者の日常の健康面、医療面がいつでも支援出来る</p>		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>48</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>必要に応じて家族や入院先の医療機関との情報交換をし退院時の受け入れに備えている</p>		
<p>49</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>早い段階から家族やかかりつけ医と話し合い統一した方向性を共有し支援している</p>		
<p>50</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>統一した方向性で出来るだけ苦痛の少ない本人の望まれる生活が出来る様に情報交換しチームケアを行っている</p>	○	<p>状態にあったケア方針のカンファレンス、かかりつけ医と家族を交えてのインフォームドコンセントを行い終末期の方向性を確認しケアの見極めが重要であると考えている</p>
<p>51</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>入院はあるが居所への住み替えは開設以来発生はしていない</p>	○	<p>将来的に発生した時はその人らしさや、生活暦を重視した情報交換を行いダメージの防止に努めたい</p>
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>52</p> <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの人格を尊重をしプライバシーを守っている、個人情報の持ち出しをしない</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>行事への参加や外出、買い物、散歩など本人へわかりやすく、その都度、説明を行い自己決定を尊重している。説明だけに終わらず、動機づけを大切にしている</p>	<p>○</p> <p>本人が率直に意思表示できるように、日常からの馴染みの仲になれるよう、これからも信頼を深めていきたい</p>
54	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日々の体調、機嫌、思いを観察しながら、レクリエーションや体操、外出などに声かけを行っている。本人の希望通りの暮らしが出来るようDルーム、居室、庭などを有効に利用している</p>	<p>○</p> <p>一日のリズムはあるもののそれぞれのペースを大切にし画一的な暮らしにならないよう、個性を重視しその人らしさが発揮できる環境作りを実施しており、個々の価値感を大切にしている</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
55	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>本人の好みを把握しながら、一緒に着る服を選んだりしている。申し出により顔剃りや散髪は、本人の希望の店へ随時、行っている。訪問美容を利用できるようにもしている</p>	<p>○</p> <p>髪型も本人らしさが、保持できるよう美容師への助言を行う。過去のエピソード、記憶にヒントを得るようにしている</p>
56	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>スーパーへ一緒に行き、旬の食材選びや購入、運搬を行っている。素材に合った料理や、おやつ準備、調理を語らいながら作っている。片付けも、ひとりに片寄ることなく終了している</p>	<p>○</p> <p>生きる楽しみの]食事に期待を持ち選別、購入、調理、片付けまでそれぞれのアクティビティ能力、知的能力を引き出し活用していきたい</p>
57	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>たばこがいつでも楽しめるように、在庫管理し提供している。おひとりおひとりの甘い辛いの好みに合ったおやつや、梅酒、ビール、焼酎清酒など体調を考慮しながら、楽しめるよう提供している</p>	<p>○</p> <p>空気清浄機、灰皿、ライター、喫煙場所の安全を確保し、楽しみを保てるように継続している</p>
58	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの排泄のパターンを把握し、時間を見ながらトイレ誘導を行っている。布パンツを出来る限り使用し、失禁パンツの併用、パットも利用しながら、さりげなく行っている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>本人の希望時、本人の気持ちに添った入浴の声掛けを行い、入りたい時に入浴が出来るように支援している</p>	
60	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの体調に合わせての休息や午睡が出来るよう静かな環境作りを行い、安心して休息が出来るよう支援している</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>洗濯、食事の準備、片付けなど一人ひとりの気持ちに添った役割支援が出来る。また外出の機会も出来るだけ希望に応じて提供している。</p>	
62	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物時好きなものを買ひ、お金を支払うことが出来るように支援している</p>	
63	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者の希望時、気分転換の散歩、外気浴、買い物ドライブなど実施している</p>	
64	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>家族との面会後の外出、お墓参り、買い物、外食など行っている</p>	<p>○ 行きたい場所を聞いてリストアップし、個別で出かける機会を更に増やして行きたい</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族への電話希望時の取次ぎ、遠方に居られる家族への手紙(年賀状)を書き、送る支援をしている	○	遠方に居られる家族より本人あてに手紙を書いて出してもらえるような支援もしたい
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は自由であり、面会時は居室でゆっくり談話出来る様に支援している		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部、外部の研修での報告や随時具体的に事例で理解を深め、身体拘束は法人全体でしないケアを徹底している		
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中すべての入り口に鍵はかけずに、自由に出入りが出来る様にしている		
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者が帰宅願望時も含め外へ出られた時は、職員同士で情報交換し、安全と所在確認を必ず行っている		
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態を把握し、その方にとって危険と思われる物のみ事務所にて預かり、針箱は希望時に本数を把握し渡し安全管理に努めている		

福岡県 グループホーム ひかり

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> <p>2・3ヶ月に1回消防署・地域の方も含めた避難訓練を利用者全員とスタッフにて実施をし、内部研修にて救急処置や対応法について、グループワークをしている</p>		
72	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> <p>内部研修において、不定期には看護師から指導を受けている</p>	○	<p>今後は看護師より定期的な勉強会の企画も計画していきたい</p>
73	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> <p>地域の人々を交えて、避難訓練を実施し働きかけている</p>		
74	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p> <p>家族の面会時に出来るだけ話し合いや、説明の機会を持ち意見も求め理解を得る様になっている</p>	○	<p>敷地内での散歩は自由である為転倒のリスクも発生、精神的自由を重要視していることを、家族に説明し承諾も得ている 時として下肢筋力の見極めを考慮した援助も必要と考えている</p>
75	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>体調変化の早期発見に心がけ気付いた時点で、記録をし職員の情報交換を細かく行い、カンファレンスも実施している</p>		
76	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>服薬説明書の内容を把握し主治医へは、体調について定期往診や随時上申している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
78	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
80	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		
81	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	○	<p>台所、調理用具の衛生管理チェック表を作成し担当者を決め衛生管理を行っていきたい</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
82	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>		

福岡県 グループホーム ひかり

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		
85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
86	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
88	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	○	チリトリやホーキも利用者が自ら取ってのDルーム清掃。洗濯板での洗濯などの生活リハビリを継続していきたい
89	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



福岡県 グループホーム ひかり

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・介護予防と健康維持に開設時より口腔ケアに取り組み成果をあげている
- ・軽費老人ホームと同一敷地内であり、自然環境に恵まれ散歩や野菜作り、花壇作りなども出来る
- ・地域に密着したホーム作りを目指し介護者教室、夏祭りなど地域との交流を深めている
- ・その人らしい生活が残存能力を生かし最期まで安心して出来るよう支援している
- ・家族への情報発信(ひかり便り、船小屋荘便り、個人アルバム作成)を定期的に行っている